

おうちのかた向け



『ゆうやけにとけていく』

ザ・キャビンカンパニー／作 小学館

ページをめくると沈んでいく夕日、近づいてくる夜の色を背に、それぞれの気持ちを抱え、それぞれの時間を過ごす人々…。ゆうやけは、すべての人の時間や心をやさしく包みこみ、読んでいる私たちの感情もとけていくようです。心の奥に静かに残っている思い出を呼び起こす、懐かしい雰囲気をもった絵本です。



『ぼくのたび』

みやこし あきこ／作 ブロンズ新社

ホテルで働く「ぼく」のもとに集まる、世界中からの人々や手紙。それらを思い出しながら、「ぼく」は夜、想像の中で旅に出ます。今すぐ動き出すことが叶わなくても、これから出会う人やもの、続いていく時間に思いを馳せる時間が「旅」のはじまりになる…。未来への光を感じる、大人にこそ開いてほしい一冊。

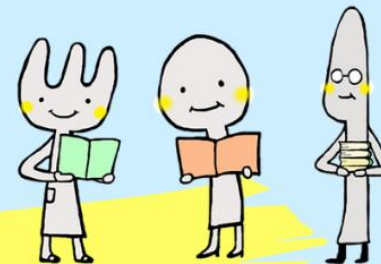


『ぼくはテディベア屋さん』

hippie coco／著 誠文堂新光社

テディベア屋さんで、とってもかわいいテディベアに出会った女の子。そして、それはテディベア屋さんのおばあちゃんが作ってくれた宝物だったからこそ、こんなにもかわいいのだということを知ります。この絵本を読んだらきっと、あなたも手作りテディベアの虜に。見返しに作り方も掲載されています。

2026 SUMMER



おすすめの絵本



燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内いたします



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X（旧Twitter）



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問合せ 燕図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-97-7701

0さい～2さい向け



『かざりましょう』

イヌイ マサノリ//作、絵 ひさかたチャイルド

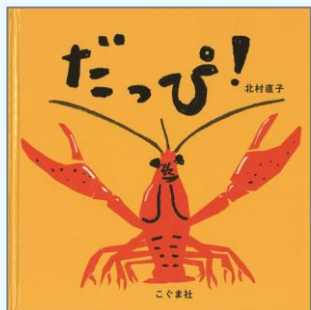
お花を花瓶に、絵を壁に。おしゃれだってそう！「かざる」と、大切なものがもっとキラキラして見えて、わくわくしちゃう。そんな小さなときめきが、ぎゅっと詰まっています。ぜひおうちでもお子さんと一緒に、素敵なものを「かざりましょう」。それだけで毎日が少し、特別なものに変わりそうです。



『チキカンゲー』

樋勝 朋巳//作 こぐま社

不思議なリズム、「チキカンゲー」。読めば読むほど楽しくなってきた、頭から離れません。タンバリンを手にしたわんちゃんのあとに続いて進んでいくと、何やら素敵なことが起こりそうな予感がしてきます。この絵本の中にあるのは、明るくて優しく楽しい世界。みんなと一緒に遊びに行きましょう。



『だっぴ!』

北村 直子//作 こぐま社

生き物たちが、もぞもぞもぞもぞ…。ページをめくると、「だっぴ」！成長するため、姿や形を変えるため、皮膚を新しくするため…さまざまな目的で、生き物は脱皮をするそうです。繰り返しの「だっぴ」という言葉のリズムを楽しみながら、みんなの脱皮の様子をのぞいてみてください。

3さい～5さい向け



『うみのたからもの』

たかお ゆうこ//作 加瀬 友喜//監修 講談社

そっと手にのせた貝がら。その姿や重み、耳をすませば聞こえてくる音が、私たちが物語の世界へと誘います。広がっていく、ここではないどこか遠い世界。そして感じる、脈々と受け継がれてきた命のつながり…。さまざまなことを感じ、思いを巡らせながら楽しめる、美しい夏の絵本。



『あさがお』

荒井 真紀//文、絵 金の星社

夏を彩る、あさがおの一生を描いた絵本。中でも、きゅっと結ばれたつぼみがほどこけ、ぱっと花開く様子は美しく圧巻です。花はやがて枯れ、種ができますが、一株のあさがおから採れる種の数をご存じでしょうか？ぜひこの絵本を読んで、お子さんと答え合わせをしてみてください。



『はっぱ きらきら』

多田 多恵子//ぶん 山本 尚明//しゃしん 福音館書店

はっぱを光にかざしてみると現れるのは、レース模様、満点の星空…。光とはっぱが作り出すキラキラかがやく景色に、なんだか胸がドキドキ。驚きと感動がいっぱいです。読後はきっと、身近にあるはっぱを光にかざしてみたくてしまうはず。絵本を読んで、自然と遊ぶ。そんな、楽しい夏の予感がします。